

(別添 2)

No.	1
策定年月	令和3年5月
見直し年月	

対象地域	岡本、南中山
------	--------

麦・大豆産地生産性向上計画 越前市産地 (作成主体:越前市農業再生協議会)

1. 麦・大豆の生産性向上・生産強化に向けた方針

越前市は、全耕地面積に対して主食米の作付割合が約6割を占める水田地域である。

近年、主食用米の国内需要が減少する中で、将来を見据え、加工用米等の生産拡大、園芸品目の導入等と併せて、麦・大豆の生産を拡大する必要がある。

麦・大豆の生産拡大にあたっては、担い手への集積が急速に進む状況を踏まえ、効率的作業を可能とする生産性の高い麦・大豆産地づくりを推進していく。

また、実需と密接に連携し需要のある品種の生産を推進するとともに、実需者の求める品質と安定収量を確保するための栽培技術の導入を進めていく。

現在、越前市においては、水田フル活用の推進に取り組んでいるが、本計画において、麦・大豆生産性向上・生産拡大に係る取組をより具体化するとともに関係者の連携を強化し、農業の更なる活性化を図っていく。

2. 麦・大豆生産の現状と課題

(1) 需要に応じた生産の現状と課題

JA福井県及びJA越前たけふを通じて加工業者へ販売しているが、近年の生産面積、販売数量は横ばいである。主食用米からの転換作物として生産拡大が必要な作物であるが、実需者ニーズに応じた価格・品質等に対応するため生産を行う必要がある。

(2) 生産における現状と課題

六条大麦及び大豆について、作付面積は近年微増傾向で推移しているが、単収が不安定な状況である。単収が不安定な原因として、天候不順による生育不良や、獣害、同じ圃場での作付頻度の増加による地力低下、暖冬の影響による雑草の増殖等が考えられる。よって、獣害対策や、土壌診断に基づいた地力の回復、施肥や土壌改良資材の施用等の実施等が課題となってくるが、生産者の高齢化や、土壌診断や土壌改良資材等の掛かり増し経費の捻出が難しいこと等から、あまり改善が進まないのが現状である。また、圃場によっては、溝堀機(トレンチャー等)が入れず、排水不良となる等、農地のインフラ整備が課題となる場合や、麦・大豆に必要な農作業機がない事も課題となる場合がある。作付面積についても、微増とはいえ、生産調整の目標値には毎年届いていないのが現状である。農業協同組合の方針や、集落によっては転作に不向きな中山間地であること等が要因と考えられる。

(3)実績

① 生産量

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)
小麦										
大麦	ファイバースノウ	(44) 44	(47) 47	(60) 60	(150) 150	(315) 315	(272) 272	(67) 67	(147) 147	(163) 163
作物計		(44) 44	(47) 47	(60) 60	(150) 150	315 315	272 272	(67) 67	(147) 147	(163) 163

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)
大豆	大豆	(9) 9	(10) 10	(19) 19	(176) 176	(113) 113	(145) 145	(16) 16	(11) 11	(28) 28
作物計		(9) 9	(10) 10	(19) 19	(176) 176	(113) 113	(145) 145	(16) 16	(11) 11	(28) 28

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 計画策定時に数値が把握できる直近3年の実績を記載する。麦と大豆で年産が異なっても良い。

※ 年産は必要に応じて適宜書き換えて使用すること。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。（大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能）

② 団地化

作物名	品種名	平成30年産		令和元年産		令和2年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
小麦								
大麦	ファイバースノウ	39	88.9%	44	93.5%	54	90.3%	
作物計		39	88.9%	44	93.5%	54	90.3%	

作物名	品種名	平成29年産		平成30年産		令和元年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
大豆	大豆	9	95.2%	9	92.4%	19	99.9%	
作物計		9	95.2%	9	92.4%	19	99.9%	

※ 原則田の数値を記載するが、畑を含んでいる場合は、田の数値を括弧書きで記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 団地化率は、団地化面積が当該品目の作付面積に占める割合を指す。現状数値以外は把握できる範囲の記載で良い。

※ 品種毎の記載が困難な場合は、麦全体及び大豆全体の数値のみの記載で良い。

③ 団地化率の計算に用いる団地の基準・考え方

県の団地基準面積値を使用

※ 都道府県の団地基準面積値を使用している場合は、その旨記載すること。

※ 都道府県の団地基準面積値と異なる場合は、必ず記載すること。